

すぎなみにほんごかいわ 杉並日本語会話の会

NO.69 2017年3月号
毎週 火曜日 90分 個人授業
(午前・午後2部制)

れんらくさき ありま
連絡先: 有馬

TEL 090-8489-4452

<http://suginaminihongokaiwa.blog.fc2.com/>



しょうがっこうほうもん 小学校訪問

がつ にち すぎなみくりつだいよんようがっこう こくさいこうりゆぎょう しゅつせき
2月21日、杉並区立第四小学校の国際交流授業に出席しまし
た。参加したのは10か国18名の学習者とボランティア19名。
こんかい かいめ きかく ねんせい ねんせい かがくねん ぶんさん じかん めげんぎょう こうりゆう
今回は4回目の企画となります。1年生から6年生の各学年に分散、4時間目の授業で交流し、
その後の給食も、子どもたちと一緒に楽しくいただきました。受け入れのご準備をいただいた先
せいがた きゅうしょく はいぜんとう さまざま こえか じどう
生方、給食の配膳等、様々な声掛けをしてくれた児童のみなさん、ありがとうございました。

1年生



ねんせい ほうもん じん かんこくじん
1年生を訪問したのは、イギリス人のEさんと韓国人のIさん。

まず、自己紹介と、お国言葉での挨拶。Eさんはお父さんが
ギリシア人、お母さんが英国人なのでギリシア語と英語で。

Iさんは韓国語の挨拶。子どもたちのとても上手な発音に二人ともびっくり。質問タイムでは、「韓国で
いちばん高い山は？」と「イギリスで有名な場所は？」。Eさんが得意な絵を描いて観覧車を説明すると
皆、大喜びでした。英国、ギリシア、韓国でのジャンケンを紹介の後、皆でジャンケンをしました。

最後に、お礼にと児童全員で歌を歌ってくれました。二人とも「かわいい！」「元気がよい！」と感心し

ていました。給食には、学校から急いで駆け付けた台湾の康さんも参加。韓国では、カフェテリアのようなところで食べるそ
うで、Iさんは教室で食べるのに

驚いたようでした。給食の後も
子どもたちに囲まれ、楽しく過ごし
ました。

2年生

ねんせい かんせい はくしゅ げんき むか
2年生の歓声と拍手で元気に迎えられたのは、オーストラリアのMさんとベトナムのKさん。それぞれの故郷の紹介に
つづ かつぱつ しつきおうとう ねんせい た もの どうぶつ かんしん あつ
続いて、活発な質疑応答があり、2年生らしく、食べ物、スポーツ、動物などに関心が集まっていました。Mさんには、
えいご しつもん さいご どうぶつあ おこな なか
英語での質問もありました。最後に動物当てのジェスチャーゲームが行われ、中には「ツチノコ」などの難問もありました。

Mさんは、出身地がジャズ音楽やバナナ、ラクダで有名。仕事はファッションデザイナー、と言うと歓声が上がり、さらに、
お気に入り星野源やピコ太郎、ガリガリくんなど、子どもたちの好きな名前が出るたびに大歓声。Kさんは、ベトナムで



おもにバイクが使われていること。また雪がなく、日本の雪が大好き。でも、滑るので、少し怖くなっ
た話を紹介しました。最後に、クラス代表二人がお礼の挨拶。オーストラリアのミートパイを食べてみ
たい、ベトナムではプラスチックのお金があることを知って驚きました、としっかりまとめてくれました。



給食には台湾のSさんも参加しました。



【給食メニュー】

高野豆腐のそぼろごはん
けんちん汁
いよかん 牛乳





3年生

3年生の交流は、Rさん(オランダ)とGさん(ベトナム)。Sさん(台湾)は給食だけの参加でした。Rさんはジュエリーデザイナー。写真を見せると、女子からの質問が相次ぎました。ジュエリーは、最近では装飾品としてだけではなく、



アートとしても使われるとのこと。また、オランダは、とにかく平らなので、みな自転車に乗ることなどが紹介されました。Gさんは地図でハノイ、ホーチミンの場所を示し、ホーチミンはベトナム独立の英雄だと説明。また、ベトナムのお金の単位はドン(1円=200ドン)で、高額紙幣はプラスチック製だと実物を見せてくれました。最後に児童全員で「素敵な友だち」という歌を歌ってくれました。



4年生



4年生の大歓迎に迎えられたのは、Kさん(中国)、Nさん(ベトナム)、Cさん(オーストラリア)。まずは握手と自己紹介。Kさんはインテリアデザインの勉強中。故郷=長春の美しい風景写真をPCでたくさん見せてくれました。Nさんは今年小学校に入学する子を持つ母親。緊張しきっていたはずが嘘のようにリラックス。「ピコ太郎、知ってる?」との質問にも笑顔で答えました。ギタリストのCさんは、オーストラリアの第2の国歌といわれる「WALTZING MATIDA」を子どもたちと大合唱、すっかり人気者になりました。テーブルを大円形に並べて給食を美味しくいただいた後は、別れの挨拶。3人は子どもたちが作るアームブリッジの下をくぐって教室を出ました。その後もたくさん子どもたちに囲まれ、サインを頼まれたり、手紙や絵を渡され、楽しい交流となりました。



5年生



5年生と交流したのはIさん(モルドヴァ)、Rさん(中国)、Kさん(台湾)。児童全員の自己紹介、学習者の自己紹介、続いて学習者の出身地の紹介をしました。Iさんはモルドヴァという国がどこにあるのか、モルドヴァで使われている言葉の変遷などを話してくれました。Rさんはパンダの話。漢字では「猫熊」と書くこと、世界に1600頭しかいないこと、一日に竹を40kg食べ、竹を食べている以外は寝ていることなど。子どもたちは興味津々で聞いていました。Kさんは、かつて台湾は日本の植民地だったが、いまでも使われている小学校の建設などの貢献があったので、台湾の人たちは親日であること、などを話してくれました。次に、学習者が母国のじゃんけんの掛け声を紹介。数回聞いただけで、子どもたちは覚えてしまいました。



6年生



6年生のクラスでは、Iさん(ジャマイカ)、Mさん(ロシア)、Kさん(台湾)が交流。児童が名前と好きなことの自己紹介の後、学習者が自己紹介、質疑応答を行いました。Iさんはジャマイカの国旗、ウサインボルトの写真などで説明。「トランプ大統領をどう思うか」の質問には、返答に困っていました。Mさんはロシアの寒さについて、マイナス40度を体験したことがあり、オイミヤンコ村では、マイナス70度の記録もあると説明すると、児童から驚きの声があがりました。



中国語が話せる児童がいて、授業のあと、Kさんと中国語でお喋りを楽しんでいました。

